

父 タイトルホルダー
牡 鹿毛 2025年3月1生まれ コスモビューファーム



タイトルホルダー
鹿毛 2018年

ウインマリリンの25
牡 鹿毛 2025.3.1

ウインマリリン
栗毛 2017年

ドゥラメンテ 鹿毛 2012年	キングカメハメハ	Kingmambo *マンファス
	アドマイヤグルーヴ	*サンデーサイレンス エアグルーヴ
*メーヴェ Mowen (GB) 黒鹿毛 2008年	モチヴェイター Motivator	Montjeu Out West
	トップ テーブル Top Table	Shirley Heights Lora's Guest
スクリーンヒーロー 栗毛 2004年	*グラスワンダー Grass Wonder	Silver Hawk Ameriflora
	ランニングヒロイン	*サンデーサイレンス ダイナアクトレス
*コスモチェーロ Cosmo Cielo (AUS) 栗毛 2003年	フサイチ ペガサス Fusaichi Pegasus	Mr. Prospector Angel Fever
	ショーウオン Shorwon	Buena Shore April Wonder

*サンデーサイレンス 4S×4D, Mr. Prospector 4D×5S, Danzig 5D×5D

母 系

母**ウインマリリン**(17 スクリーンヒーロー) 5勝, オールカマー-G2(芝2200m), 日経賞-G2(芝2500m), フローラ S-G2(芝2000m), ミモザ賞(芝2000m), オークス-G1 2着, エリザベス女王杯-G1 2着, 同 4着, 札幌記念-G2 3着, 天皇賞(春)-G1 5着, 香港 1勝, 香港ヴァーズ-G1(芝2400m), 北米入着, B C フィリー&メア ターフ-G1 4着。本馬が初仔
祖母 *コスモチェーロ(03 Fusaichi Pegasus) 豪州産, わが国で 1勝。産駒
ウインマーレイ(牡 マツリダゴッホ) 3勝, ラジオ N I K K E I 賞-G3, アスター賞
マイネヒメル(牝 *ロージズインメイ) 4勝, 大倉山特別, 立川特別, 恵山特別。産駒
コガネノソラ(牝 ゴールドシップ) 5勝, 福島牝馬 S-G3, クイーン S-G3, スイートピー S-L, 小倉牝馬 S-G3 3着, ㊞
マイネルマーティン(牡 ハーツクライ) 3勝, 猪苗代特別, 飯盛山特別
マイネルエール(騾 スクリーンヒーロー) 東海公 2勝, 岩手㊞ 1勝, 佐賀㊞ 3勝, 障 2勝, 新潟ジャンプ S 5着, ㊞
ルシールドール(牝 オルフェーヴル) 5戦, 入着。産駒
コラソンビート(牝 スワーヴリチャード) 3勝, 京王杯 2歳 S-G2, ダリア賞-OP, フィリーズレビュー-G2 2着, 阪神ジュベナイルフィリーズ-G1 3着, 安達太良 S-OP 3着
ウインヴォラーレ(牡 ステイゴールド) 3勝, 陣馬特別
イペルラーニオ(牡 ディープインパクト) 3勝, 白鷺特別
ウインチェレステ(牡 ドゥラメンテ) 2勝, 障 1勝, 東京ジャンプ S 5着
ウインスティーガ(牡 ウインブライト) 1勝, ㊞
曾祖母 **ショーウオン** Shorwon(83 Buena Shore) 不出走。産駒
ショーブルー Shorblue: 豪 7勝, S A J C アデレイド ギニー-G3, SAJC Veuve Clicquot S-L, VRC Chester Manifold S-L。種牡馬
クラシック アルア Classic Allure: 豪 4勝, S A J C アデレイド ギニー-G3, S A J C オーラリア S-G3 4着
カラダン Kaladan: 豪 2勝, STC Parramatta Cup-L



母の父

スクリーンヒーロー
千歳産、最優秀古牡馬、5勝、ジャパン C-G1(2400m)。主な産駒 **モーリス**(年度代表馬、香港 C-G1)、**ウインマリリン**(香港ヴァーズ-G1)、**ゴールドアクター**(有馬記念-G1)、**ウインカーネリアン**(スプリンターズ S-G1)。母の父として **アルトラムス**(毎日杯-G3)、**サウンドムーブ**(シンザン記念-G3 2着)、**シカゴスティング**(ファンタジー S-G3 3着)、**クリノアルバトロス**(浦佐特別)、**グーテンベルク**(芦ノ湖特別)を出す

CHECK POINT

父は2番手もしくは逃げてG1を3勝しており、スピードと心肺機能の高さが大きな武器でした。逃げ馬は、自分でペースを作れるとはいえ後ろからのプレッシャーもあり根性比べになるので、追い込み馬より何倍も心的疲労が大きいです。凱旋門賞の大敗後でも負け癖がつくことなく、最後の有馬記念3着は立派ですし、父の特徴がちゃんと遺伝するなら、産駒は現代のスピード馬場にとても合うと思います。同じ逃げ馬でもキタサンブラックとはタイプが違い、クラシックに間に合わせるならタイトルホルダー。唯一の懸念は、その父ドゥラメンテの産駒が硬めだったことで、父自身も古馬になると少しずつ硬さが出てきているように感じました。一方、母ウインマリリンは肘の軟腫に悩まされたものの、スクリーンヒーロー産駒らしく古馬になっても筋肉が硬くなりなく、パフォーマンスが下がりにくい特徴を持ち、その中で筋力が強くなり香港のG1を勝ちました。本馬は初仔とは思えない立派な骨格と体格で筋肉量も豊富です。だけど歩かせると脚さばきが速い! 早送りしてませんからね。骨の太さと筋肉量からも大きくなりそうで、大物感があります。当然、クラシックを狙える逸材だと大いに期待しています。

